

## 子供たちの農業体験

市内小中学生に、「よこて産野菜」の良さを知ってもらうための「農業体験の場」を提供しています。



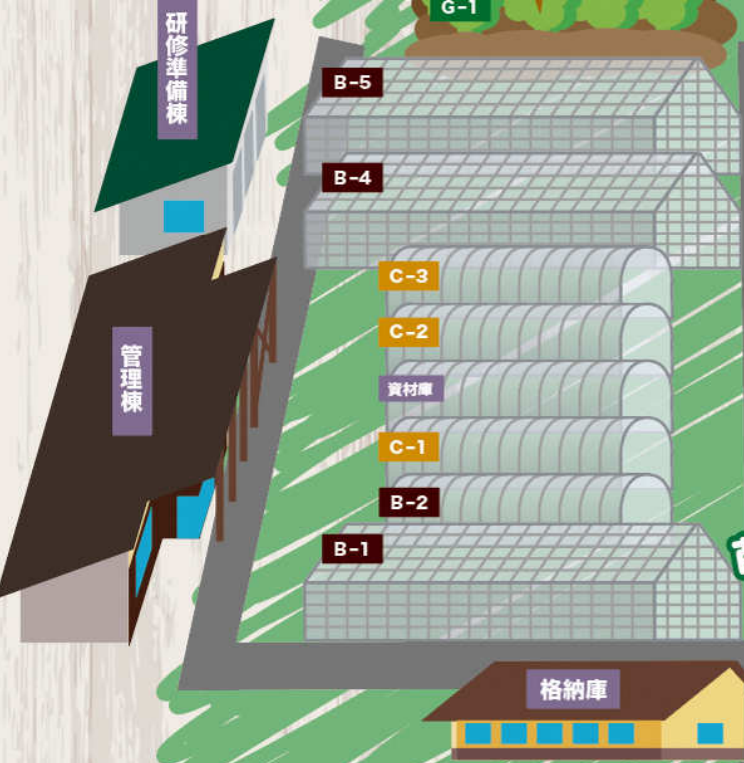
給食に使われる野菜の栽培実証もしています！



露地トマト  
ソバージュ栽培  
発祥の地！



2010年、当時の実験農場長加藤正一氏が考案した露地トマトの栽培方法。キュウリ栽培資材を活用し、通常であれば1本に仕立てるトマト苗を、芽掻きをせずにそのまま伸ばしていく方法で、より多くの花房がつくために単産性に優れ、仕立ての手間がかからないことで労働負担が軽減できることがメリット。横手発の栽培方法として、明治大学農学部や県立広島大学等と共同研究を実施しており、その栽培方法は広がっています。



苗テラス・苗ピット



苗テラス  
温度・光・水管理などを24時間自動化する装置。この中で種から育てることで、環境条件が安定し病害虫侵入がなくなり、良質な苗を栽培することができます。

## 横手市実験農場とは

新たな園芸作物の導入による複合経営を推進し、農家所得の向上・農業経営の安定に資するため、園芸作物栽培の実験実証や農家の栽培技術習得の場として昭和53年に旧大雄村が設置しました。現在、横手市における園芸振興の中核施設として運営されています。

## 農場の三大事業

- 園芸品目栽培実証事業**
  - ・地域の栽培環境に適した品目・品種の選定や、技術支援のための実証圃場を設けています。
  - ・県や大学、農業団体等と連携した共同研究を実施しています。
- 研修事業(担い手育成)**
  - ・地元横手で園芸作物を栽培し自立しようとする新規就農者等を育成しています。
  - ・栽培に関する技術や知識を農家に伝え、レベルアップに繋げる事業を行っています。
- 地域種苗センター事業**
  - ・野菜の接木苗を中心とした優良な種苗を生産し、生産農家へ供給しています。
  - ・育苗が難しいとされる品種にも取り組み、生産拡大に向けた種苗の安定供給に取り組んでいます。

## 施設概要

◆用地	◆機械器具等
露地野菜圃場(G-1~7)	108 a
鉄骨ハウス(B1, B3~5)/パイプハウス(B2, C1~13)	36 a
・育苗用ハウス(B) 100坪型: 4棟 45坪型: 1棟	①トラクター ②播種機
・栽培用ハウス(C) 45坪型: 3棟 21坪型: 6棟	③セット動噴 ④管理機
39坪型: 1棟 120坪型: 3棟	⑤フレールモア ⑥ポット土入れ機
建物他(管理棟、作業棟、研修準備棟、駐車場等)	140 a
計	284 a
	⑦非破壊糖度計 ⑧予冷庫
	⑨苗ピット ⑩苗テラス
	⑪生産施設モニタリングシステム